

雑 報

Černis-Kiuchi-Nakamura 彗星 (1990 b) の発見

長野県南佐久郡白田町の木内鶴彦氏は、1990年3月16日10時35分(世界時)に、アンドロメダ座に新彗星を発見し、国立天文台に通報して来られた。また、三重県鈴鹿市の中村祐二氏も、全く同時刻に同じ彗星を発見し17日に国立天文台へ通報して来られた。天文台では、おりからすぐ近くにあった Skorichenko-George (1989 e1) 彗星と違う新彗星であることを確かめた後、国際天文学連合天文電報中央局に通報した。折り返し中央局より上記表題のように命名された電報が届いた。これによると、第1発見者は Kazimieras Černis (リトアニアの Vilnius 天文台) により 12 cm 屈折で9等級として3月14.79日(世界時)に発見されていて、木内、中村の両氏は第2、第3番目の発見者となった。

3氏の発見位置、及び使用機材は次の通りである。

1990 (UT) α (1950.0) δ m_1 観測者 機材
 III-14.79 0^h54^m4 $+43^\circ04'$ 9 Černis 12 cm 屈
 16.441 1 03.0 $+44^\circ05'$ 9 木内 15 cm 25倍双
 16.441 1 03.2 $+44^\circ07'$ 9 中村 12 cm 20倍双
 なをこの他に A. Hale (アメリカ・ニューメキシコ) 氏による3月17.120 UTの観測がIAUC 4980は掲載されている。

全く同時刻の発見は、今回が初めてであり、天文台ではその順序に苦慮したが、国内の2氏の対応から考慮し両氏の諒解の下に木内・中村の順序としたことをつけ加えておきたい。
 (香西洋樹)

学会だより

PASJ 42 巻 1 号の一部に乱丁があるおそれがあります。もしお気づきの場合には、ご返送いただければ、お取り替えいたします。
 PASJ 編集部

1990年5月の太陽黒点 (g, f) (国立天文台)

1	8,	32	11	10,	105	21	—,	—
2	—,	—	12	—,	—	22	14,	270
3	—,	—	13	—,	—	23	—,	—
4	—,	—	14	—,	—	24	9,	195
5	—,	—	15	15,	147	25	12,	133
6	7,	62	16	12,	167	26	11,	107
7	—,	—	17	13,	153	27	11,	86
8	11,	127	18	13,	165	28	12,	168
9	10,	139	19	—,	—	29	12,	130
10	9,	139	20	16,	222	30	9,	101
(相対数月平均値: 149.9)						31	9,	119

◇ 8月の天文暦 ◇

日	時	分	記	事
6	23	19	望	
8	4	07	冥王星	東矩
12	5	32	水星	東方最大離角
13	4	27	火星	西矩
14	0	54	下弦	
15	19	08	月	最近
20	21	39	朔	
25	8	48	水星	留
28	11	57	月	最遠
28	16	34	上弦	

◇ 8月の日月惑星運行図 ◇

